

# 魅力ある人材へ



文学部長  
河西 良治  
Ryoji Kasai

現代の世界はいたるところで混乱や苦難が発生しています。私たちはもちろんこのような混迷の時代を乗り切っていかなければなりません、日本の社会に伝統的にある事なかれ主義でも、また、硬直化したイデオロギーでも対応ができません。これだという既成の解法もなく、事が起こるごとに、その都度、柔軟に多角度から事態を読み取り解決していくことが要請される時代なのではないかと思います。世間によく言う「解なき時代」に私たちは遭遇しています。言いかえれば、行き詰ること、息詰まることが当然な時代だということもできるかもしれません。

このような時代に大学を卒業する皆さんはこれまでの時代にはない苦労も多いかと思いますが、きっと、皆さんにはこの混迷する世の中を立て直す使命があるのではないかと思います。一人ひとりの使命にはもちろんそれぞれ違った役割があると思いますが、大学時代に培った専門分野の研究と幅広く深い教養を活かしてそれぞれの道を力強く歩んでほしいと思います。

さて、皆さんの身につけた「教養」というのはどんなものでしょうか。ある国語辞典の定義によると、「教養」とは、「学問、幅広い知識、精神の修養などを通して得られる創造的活力や心の豊かさ、物事に対する理解力」とあります。私はこの定義はとてもいい定義だと思います。人間として魅力ある人格、創造的に工夫して生きていく活力、新しい事態を理解する洞察力こそが「教養」です。もし皆さんの「教養」がまだ既成の知識の集積に過ぎないものだったら、これから社会に出て、それを魅力ある人格、創造的活力につながるものに育て上げてほしいと心から願っています。社会に出てからの多種多様な経験を通して、また、人類の知的遺産である古典との更なる出会いを通して、一生学び続け、自分を更に磨きあげていってほしいと願っています。そのような皆さんを混迷する今の時代は求めていると思います。Good luck!

# はなむけの言葉



総合政策学部長  
丹沢 安治  
Yasuharu Tanzawa

今頃は多摩キャンパスでの思い出と新しい人生に向けての期待が交差していることと思います。もう学生時代に戻ることはありません。ここで得た知識や友人、先生とのつながりを大事にしてください。仕事の世界とはかかわりのない友人、先生たちとのつながりはとても貴重なものになります。そして同時に気持ちを一新して、新たな生活の場となる社会環境のなかで、力強く生きていくことを決意してください。

皆さんが人生の新たな一歩を踏み出す社会とはどのようなものでしょうか?つい先日までの「閉塞感の漂う雰囲気」は様変わりしているのではないのでしょうか。何か新しい感性が歓迎されるような雰囲気がありますね。この雰囲気には、いくつもの重要な側面がありますが、わたしはこれまでの欧米中心の経済と価値観が重視される世界から、新興国と呼ばれる国々の成長とそれに伴う新興国市場のプレゼンスが増大した世界という側面が最も重要だと思います。新たな環境に立ち向かうためには、これまで培った知識、能力、創造力など全般的な力だけでなく、こだわりのない柔軟な視点、若さによるエネルギー、そして高い気概が必要です。そしてそれを周囲の社会が必要としています。「古い環境や価値観」に適応してしまった上の世代は、新たな感性や解決策を「正統なもの」として受け入れるよりも、異端として白眼視する人が多いものです。皆さんは、高い気概を持って臨み、実際に成果を上げ、その成果の力でだんだんと「正統なもの」として社会的地歩を確立していかなければなりません。このプロセスは新たな現実には宿命的につきまとうものです。ぜひ高い気概を持って新たな正統性の獲得をめざし、そして成功することを期待しています。